

# 従業員の幸せが原動力 ガラス加工の無限の可能性に挑む



株式会社ミツル光学研究所  
代表取締役社長 山邊 英彦 氏

ガラス加工と研磨の技術を磨きながら、時代のニーズに応えてきたミツル光学研究所。光学ガラスやFPD（フラットパネルディスプレイ）用ガラスの加工を基盤に、現在では車載ディスプレイや半導体分野など、最先端の部品製造にも挑んでいる。

昨年、創業70周年を機に企業理念「MITSURU VISION」を策定。自社の技術に誇りを持ち、ガラス加工の可能性をさらに広げていくことを掲げた。その根底には、「従業員みんなが幸せになる会社でありたい」という創業時から受け継がれてきた思いがある。

個の力を尊重し、チームワークを大切に作る温かな企業文化が、ものづくりの現場を支えている。

## 光 学機器の進化とともに 成長

—昨年、創業70周年を迎えられたそうですね。

山邊 現会長・渡邊稔さんの父、博さんが1954年12月27日に杉並区高円寺で創業した会社です。当時の社名は「太陽光学株式会社」でした。創業者は戦前から同所でガラス加工や研磨を行う町工場を経営していたそうです。戦

時中は航空機のパイロットが使用するゴーグル用のガラスなども製作していたと聞いています。戦後は、カメラレンズやフィルターの加工、顕微鏡や双眼鏡に使われるレンズの受注が増えました。その後、コピー機のミラーガラスやラップトップPCの液晶用ガラス、さらに液晶テレビや携帯ゲーム機といったFPD用のガラスの他、スマートフォン用のカバーガラスなどを手がけるようになりました。

—光学機器の進化とともに事業内容も変化してきたのですね。

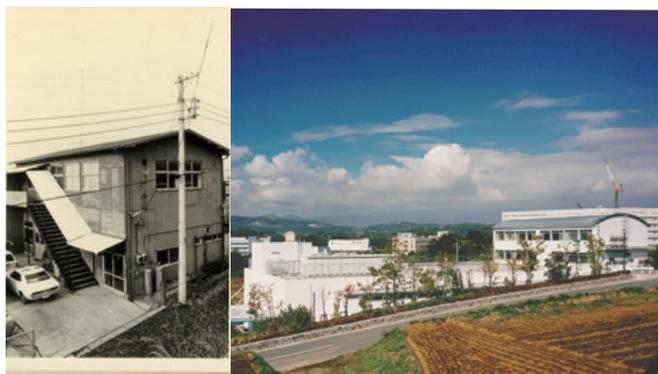
**山邊** そうです。日本の復興や経済成長の時代を象徴するような光学機器やその最新技術にいち早く接し、自社の技術の精度を高め続けてきました。

—川崎に移転してきたのはいつ頃ですか。

**山邊** 都内の宅地化が進み、工場も手狭になったため、1967年に高津区宮崎に移転し、1971年には高津区向ヶ丘に工場建屋を購入しました。

1969年には「ミツル光学研究所」と改称しました。由来は創業者夫人・ツルさんの名前と、会社に繁栄が「満つる」という意味を掛け合わせ、3羽のツルを組み合わせたロゴマークも制作しました。

その後も何度か移転を重ね、1984年に現在地（宮前区土橋）に自社工場を新築しました。実際の加工や製造は横浜工場（横浜市都筑区）、秦野中井事業所（足柄上郡中井町）、関連会社のエム・ジェイ・エム（茨城県笠間市）などで行っています。



1970年頃の  
向ヶ丘工場

竣工当時の秦野中井事業所

## F PDと半導体関連部品で高評価

—現在の業務内容を具体的に教えてください。

**山邊** FPD関連事業と、半導体関連部品が中心です。その他、AV関連機器部品、事務機装置部品、各種ガラス加工なども手がけています。

FPDは2000年代初め頃からCRT（ブラウン管）に代わって普及し、テレビやスマートフォン、パソコンやタブレット端末などに搭載されています。

半導体関連では高精度のガラスウエハー（半導体ウエハー製造用サポート板ガラス）の提供、フォトマスク基板（電子部品の回路パターンを転写する原版）の加工、膜付き基板の裏面研磨などを行っています。

—業界の動向を教えてください。

**山邊** 車載ディスプレイの大型化や形状の複雑化が進み、カバーガラスの需要が増えています。車載ディスプレイの高性能化、高付加価値化、複数搭載などによって自動車価値を向上させる動きは今後も続き、成長が見込めます。

欧州市場に向けた自動車のテールランプも増産中です。欧州の高級車ブランドが有機EL照明を採用したためです。有機EL照明の輝度はLEDに劣るものの、デザインの自由度が高く、将来的に情報表示デバイスとなる可能性があります。テールランプの次世代技術として、欧州以外でも採用が広まると期待しています。

—他社との優位性を保つ秘訣は何ですか。

**山邊** 当社は、液晶ディスプレイの黎明期より、マザーガラス（板ガラス）の切断、面取り、研磨、精密洗浄・検査といった技術に関するノウハウを多く持ち、ディスプレイ技術の発展に貢献してまいりました。その結果、有機ELや車載用カバーガラス加工、さらには半導体製造工程など、幅広い分野の多様なニーズに柔軟に対応できる加工技術と、厳格な品質管理体制が、お客様から高く評価されていると自負しております。

## 技 術を信じてあきらめない

—山邊社長はいつから経営に携わるようになったのですか。

**山邊** これまで社長は何人が交代してきましたが、初代は創業者、その息子である渡邊会長が2代目、そして2018年に私が社長に就任しました。

私が入社したきっかけは、高校時代に当社でアルバイトを

したことです。入社後、20代半ばには仕事終わりにビジネススクールに通い始めました。会社に関する「数字」を理解することが、自分自身の成長につながると感じたからです。その頃から積み重ねてきた学びや意識が、今の経営姿勢にも反映されていると思います。

私は渡邊会長から本当に多くのことを学びました。とりわけ「自分たちの技術を信じ、決してあきらめない」という当社の基本姿勢は、今も変わらず会長自身が後進に伝え続けてくれています。

また、渡邊会長から「人との会話は落語から学びなさい」とアドバイスを受けたことをきっかけに、落語の寄席に足を運ぶようになりました。話芸としての落語が持つ奥深さに驚かされたことを覚えています。寄席には今でも通い続け、趣味の一つとなっています。様々な視点から仕事を考えるという、大事なことを教えてもらいました。

#### —技術の継承や人材育成は、経営において非常に重要なテーマですね。

**山邊** 技術教育の基本はOJTで学んでもらいますが、高精度な加工を可能にする「職人技」の継承は、そう簡単ではありません。若い人たちの感覚に合わせた工夫が必要だと感じています。向上心のある人は上達も早いですし、製造現場の仕事であっても、仕事以外の時間を有効に活用し、自らの知見を広げる努力ができる——そうした人材を育てられる会社でありたいと考えています。

最近では、人材育成の一環として、外部講師を迎えた研修を新たに開始しました。以前から取り引きのある大手企業で、品質保証部長を務められた方を招き、品質、安全、製造に関する研修をしていただいております。

また私自身は、長年付き合いのあるお客様や経営者仲間と共に食事を交えながら意見を交換し、利害を超えた幅広い学びを得ています。こうした人との出会いやご縁は今後も大切にしていきたいと思っておりますし、その経験は次世代にもしっかりと伝えていきたいです。



ガラスの面取作業工程

#### —最近の採用状況について教えてください。

**山邊** 中途採用も含めて途切れることがないように、採用を続けています。最近は文系・理系を問わず募集しています。製造現場で働く女性の採用も増え、昔に比べてずいぶん雰囲気が変わりました。男女を区別するつもりはありませんが、女性の仕事ぶりはとても真面目で、とても助かっています。昨年度は、初めて2名の男性社員が育児休暇を取得しました。先例ができたことで他の人も取得しやすくなる、そんな効果も期待しています。

#### —健康経営にも熱心に取り組まれています。

**山邊** 当社は従業員の健康を重要な経営資源と考え、健康経営に積極的に取り組み、2023年から2025年まで3年連続で日本健康会議の「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」に認定されました。また、全国健康保険協会（協会けんぽ）神奈川支部が推進する「かながわ健康企業宣言」に賛同し、2024年度には「健康優良企業（★4）」の認定を受けました。

## 70 周年を超えて次の一步へ

#### —社長就任から7年、意気込みをお聞かせください。

**山邊** 創業70周年を迎えたことを機に、新たな企業理念体系「MITSURU VISION」を策定しました。渡邊会長が築き上げてきた「従業員とその家族の幸せ」を重視する姿勢

をさらに進化させるため、会社の存在意義、信念、価値観をあらためて明確にし、新たな歴史を歩み始めています。

—従業員みんなが幸せになる会社、魅力的ですね。

**山邊** それこそが当社のDNAであり、受け継がれ、引き継いでいくものと考えています。会社の規模を大きくするより、従業員が仕事を通じて自分の成長を実感できることを優先し、その手応えから生まれる幸せの輪を、家族やお客様にも広げてほしいです。

—複数の事業所間の交流はどのように取っていますか。

**山邊** 全社でおよそ120人が働いているため、コミュニケーションの取りやすい環境づくりに力を入れています。たとえば、約1年前から月1回「木鶏会」という会を始めました。私が愛読している月刊誌『致知』から記事を選び、それを読んで感想文を書き、社員同士で発表し合うものです。ほかの人の見方に触れて新たな気づきが生まれたり、意外な一面を知るきっかけになったりと、社員からの反響も大きく、手応えを感じています。

通常は事業所ごとに開催していますが、年に数回は事業所の垣根を越えてメンバーを入れ替えながら実施することもあります。そうした取り組みの中から「ありがとう」を言葉にして伝える運動が自然と広まり、社員の発案でロゴ入りバッジのデザイン・制作も行われました。



和やかな社風 秦野工場従業員と（中央右：山邊社長）

—面白い取り組みですね。

**山邊** おかげさまで当社は定着率が高く、他社からの転職者も居心地の良い会社だと言ってくれる。技術やモノづくりには徹底的にこだわりますが、他人を気遣い、優しくできる人たちの集まりでありたい。「MITSURU VISION」にはそんな思いも込められています。個の力とチームワークを重んじる温かな企業を目指しています。

—直近の目標、先々の目標を教えてください。

**山邊** コロナ禍をどうにか乗り越え、業績は安定していますが、直近の設備投資の費用がかさんでいるため、それをまかなった上で軌道に乗せたいです。将来的な目標としては、すでに購入済みの秦野中井事業所の隣地に工場を増設し、増産・増益につなげていくことが目標です。

—最後に趣味を教えてください。

**山邊** 神社仏閣巡りが趣味です。御朱印を集めるのも楽しみのひとつで、旅先では地元の神社仏閣に立ち寄ることが多いです。十数年前からは社の幹部一同で伊勢神宮にお参りしています。次は厳島神社にも行ってみたいです。

株式会社ミツル光学研究所

宮前区土橋2-1-6

電話 044-853-2818

■ profile

**山邊 英彦氏** (やまのべ ひでひこ)

1967年 東京都稲城市生まれ

1985年 (株)ミツル光学研究所 入社

2009年 同社取締役 就任

2018年 同社代表取締役社長 就任